

No. 62

2005

10月31日発行

萩の郷

発 行 者

下 市 田 区

発行責任者

大屋敷 清 利

印 刷

下市田・キタバヤシ印刷

各種行事は 大盛況

(関連記事は3P・4P・5P)

6月11日

地元出身町議との懇談会

7月30日

萩の里祭り

10月15・16日

文化祭り・敬老会



在りし日の荒神社 古木

萩山の里の 発展を見守り七〇〇年 (推定)

新しいメンバーで数々の支館事業に取り組んで七ヶ月が過ぎました。

六月、地元出身の町議会議員の皆さんとの懇談会、七月、夏真っ盛りの夜、雨の心配もなく多いに盛り上がった「萩の里祭り」。

十月、多くの関係者が幾晩も会合をもつて臨んだ「文化祭り・敬老会」。

敬老会には七十歳以上、八二五人の皆さんに案内をさしあげた所、当日の出席者は約二百名。

皆さんに満足していただいた敬老会と文化祭りができました。

関係者を代表して区民の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

写真提供／松島義三氏(二区)



元帥伯爵東郷平八郎原書・説明書の時の海軍中將小笠原長生の箱書有

忠魂碑
元帥伯爵東郷平八郎原書・説明書の時の海軍中將小笠原長生の箱書有

萩山神社宝物



展示された萩山神社の宝物



ぐるりウオーキングで
巡った間が沢の十王

区の情勢について

区長 大屋敷 清利

猛暑と雨不足の続いた今年、夏も過ぎ、いつしか秋も終わりに向かっている。皆様がいかにお過ごしでしょうか。

六月二十九日夜、荒神社のエノキの大木の太枝が落下して道路を塞ぎ、隣家の物置き破損等で大騒ぎ。残りの枝の落下もいつとも知れず、伐採処理した。又、数本ある杉の大木の内、北側の一本は空洞になっており、以前から倒木が心配されていた。県の樹木医の診断も受け伐採処理した。総代の皆様ご尽力に感謝申し上げます。

七月三十日に行われた下市田区夏の祭典「萩の里祭り」は、例年にもまして多くの参加者を得て、区民の交流と連帯の絆を深めることが出来た。

区民会館北駐車場の東側土手下の水路工事と併せて擁壁が八月末、完成した。整然として環境整備ができた。

農免道路北工区が水天宮辻から工業団地まで、残っていた舗装が終わり、全てが完了した。九月二日開通

清利

した。この道路の歩道は、農作業用道で軽トラ等の駐車にも使われる。ご理解を。南工区の下水終末処理場方面はまだで、着工が待たれるところである。

一区のヒョウタン堤にウシガエルが繁殖し夜な夜なヴォーヴォーと独特な低音の腹に響くような鳴き声で近隣の人たちを悩ませていた。そこで関係者が集まって対策を練り、堤を干して捕獲することになり九月十一日に実施した。カエルは捕れなかったが、大量のオタマジャクシは捕獲できた。

委員会活動報告

林務委員長

小川 修

今年の異常な気象、他県においても、外国にばかり予期せぬ大災害が発生しております。過去に於ける無計画な伐採、無理な開発、現在予算不足に伴う森林整備作業の遅れ、自然に弓する者に自然の恵みは？

さて、平成十七年度の事業内容は、夏の山作業は下刈り地拵え、秋は来る十一月に神社林の枝打ち、三月



は順礼沢の整備を行うつもり。又区有林の見廻り道の一部欠損にて整備を断行。「地球の緑を大切に」。尚一層の御理解、御協力を御願ひ申し上げます。

た。この堤は下市田区の管理である。十月十五日・十六日に行われた、文化祭り・ぐるりウォーキング・敬老会には新しい趣向も取り入れ、みんなに喜ばれる催しになった。下市田支館を中心に関係皆様のご尽力によるもので心から感謝申し上げます。区へのご奉仕。日赤奉仕団下市田支部より区民会館の座蒲団カバーの洗濯。出砂原女性の会より雑巾寄贈。高寿会の区民会館周辺の清掃。併せて感謝。いよいよ寒い冬が目前に迫っている。ご自愛の程を。

平成17年度 下市田区一般会計 中間決算報告書

(自 平成17年4月1日～至 平成17年9月30日)

収入金計 24,329,423円 支出金計 12,988,185円 差引残高 11,341,238円

Ⅰ.【収入金の部】

項 目	予 算 額	決算収入額	比較増減
1. 区 費	15,000,000	7,896,900	-7,103,100
2. 繰 入 金	550,000	0	-550,000
3. 町 支 出 金	6,000,000	857,125	-5,142,875
4. 財 産 収 入	7,400,000	6,827,649	-572,351
5. 地 元 負 担 金	350,000	58,890	-291,110
6. 消 防 義 務 金	2,100,000	2,210,000	110,000
7. 諸 収 入 金	1,500,000	182,202	-1,317,798
8. 前 期 繰 越 金	6,296,657	6,296,657	0
収入合計	39,196,657	24,329,423	-14,867,234

Ⅱ.【支出金の部】

項 目	予 算 額	決算支出額	比較増減
1. 総 務 費	12,000,000	3,370,232	-8,629,768
2. 環 境 衛 生 費	1,170,000	0	-1,170,000
3. 林 務 費	900,000	140,343	-759,657
4. 土 木 費	6,000,000	850,700	-5,149,300
5. 水 利 費	2,500,000	143,174	-2,356,826
6. 消 防 費	2,600,000	1,211,125	-1,388,875
7. 公 民 館 費	3,000,000	1,500,000	-1,500,000
8. 予 備 費	11,026,657	5,772,611	-5,254,046
支出合計	39,196,657	12,988,185	-26,208,472

平成17年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自 平成17年4月1日～至 平成17年9月30日)

既収入額 2,560,755円 既支出額 1,767,228円 残 高 793,527円 (JAみなみ信州預金残高 793,527円)

《収入の部》

科 目	予 算 額	既 収 入 額
1. 繰 越 金	600,000	611,146
2. 繰 入 金	3,000,000	1,500,000
3. 補 助 金	450,000	434,600
4. 雑 収 入	1,000	15,009
合 計	4,051,000	2,560,755

《支出の部》

科 目	予 算 額	既 支 出 額
1. 総 務 費	1,990,000	885,529
2. 事 業 費	1,870,000	848,829
3. 広 報 費	20,000	2,630
4. 予 備 費	171,000	30,240
合 計	4,051,000	1,767,228

地元町議との懇談会

平成十七年度
下市田区出身の
「地元出身町議
との懇談会」が、
去る六月十一日
(土曜日)午後
七時より下市田
区民会館に於い
て行われまし
た。公民館支館
長・区長の挨拶
のあと、五人の
出席議員の方々
より順次活動報
告をして頂き、
その後質疑応答
方式で懇談会を
行いました。

質疑応答

Q 一区下段会所の新設に
ともない、新しくできる道
路については小中学生が使
用するので通学路として安
全を考慮してほしい。
A 充分安全がはかれる様
建設委員会に働きかける。
交通安全の事なので六月十
五日の総務文教委員会でも
対応したい。

Q 唐沢洞の埋め立ては危
険なので中止してほしい。
駐車場や公園を造るのに億
単位の予算を使うのは反対
だ。
A 埋め立ては議会では否

決しています。白紙
にもどつていますが
埋め立ての是非も含
めて調査費は計上し
ている。

A 学校の改築の位
置もはっきりしてい
ないのに駐車場は必
要ない。調査費につ
いては危険もあるの
で調査費を残した。

A 絶対反対の立
場。調査も必要ない。
町長は進めたがつて
いるが、止めたいと
考えている。下流住
民、関係議員とも意
見交換の場をもちたいと考
えている。

Q 唐沢洞の埋め立ての
件、地元で賛成していると
聞かされた。たいへんな土
砂を使用し、予算も使い、
危険な工事なので絶対反
対。議員も阻止して頂き
たい。

A 地元の議員として力強
い意見なので大変ありがた
い。地元の希望があった事
実はない。また町の云う大
型排水路が出来ていても危
険には変わりない。

A あさぎり道路整備事業
の一部として工事を進めた
い様だ。調査委員会が発足
するので協力して頂き



い。

Q 最近、自治会に未加入
の独立世帯が増加してお
り、自治会に入っていると
作業等で出不足金を払う
が、未加入世帯が払わない
のは不公平ではないか。

A 町民参加条例等で、行
事作業等への参加を促して
はいるが強制する事は難し
い。町への居住が決定した
時点より自治会に入っても
らえる様に理解してもら
い、自治会に入り易い環境
を考えてほしい。

Q 実際に汗をかく人達に
報いる方法を考える委員会
を考えてはどうか。
A 町では独立世帯に、地

区の情報を郵送しており、
それに年間二百万円程か
かっている。自治会に入っ
ていなくても不便は感じな
いので役場まで取りに来て
もらう事も考えられる。

Q 三区では独立世帯に河
川清掃の通知と出不足金を
通知したが、出欠などの
フォローを町にしてほし
い。

A 自治会に入る入らない
は損得ではない。町が河川
清掃の出欠を取るのはどう
かと思う。

Q 町でも自治会に入る様
呼びかけてもらえれば、郵
便等の費用もいらなくなる
のではないか。

A 松川町では郵送はして
いない。自分で取りに行く
様になっており行政の選択
である。

A 独立世帯にかかる費用
は独立世帯に負担してもら
えば良いのではないか。

A 独立世帯のない地区も
あるので、周りの人達で自
治会に入る様に勧め、気持
ち良く入ってもらえる様に
しましょう。

Q 中央公園で硬球を使用
し、近所のガラスを割って
しまひ硬球の使用禁止と
なったが外に飛んで行かな
い様、高いフェンスを付け

てほしい。

A 検討致します。

Q 防犯ブザーは小中学生
全員が持つていないので、
町の予算で全員に持たせら
れないか。(現在は注文)

A 町へ要望します。

Q えのき屋さん前のガー
ドレールは早く対応して頂
きありがとうございます。
た。東側は安全になりました
が、西側はまだ危険なの
で、もう一本ポールを立て
てほしい。安協とは話をし
ているのでお願いします。

A 子供と車の安全を考え
て、アイディアを出し町に
提案していきたい。

Q 平成二年高森に越して
来ましたが、当時は大変自
然が豊かでした。し
かし最近自然が失わ
れているので、道路
など整備をする際に
は、自然環境に配慮
した、住み良い町作
りに心がけてほしい
と思います。

A 同感です。里山
も荒れているので、
整備する様見直して
いきたい。里山はゴ
ミ捨て場ではない。

Q 少子化対策につ
いて国や阿智村では
不妊治療について予

算を組む事を考えている様
だか町ではどうか。

A まだ考えていないので
勉強して研究していきたい。

今回は、小中学生の安全
対策について、唐沢洞の埋
め立て問題、独立世帯の自
治会への加盟・参加問題等
を中心に多数の意見交換が
なされました。

区民約百名という多数の
方々のご出席の中で例年以
上にたいへん有意義な懇談
会を行うことが出来まし
た。

地元町議の方々の今後の
御活躍をお祈りし、報告を
終わらせていただきます。





さあ いらっしゃい いらっしゃい



縄文の火おこし がんばれもう少しで火がつくよ

好天に恵まれ 大盛況

7月30日

萩の里祭り

下市田支館の年間行事で
最大イベントの萩の里祭り

が、七月三十日(土)に盛大に行われました。
六月より会合を持ち、関係諸団体の皆様と打ち合わせをし、区民の皆様が楽しめるような祭りをめざして準備を進めてきました。
今年度は経験が無い部員がほとんどで、準備におちがいかどきどきしながら当日を迎えました。
お楽しみコーナーの皆様も、早くから集まって汗をかきながら、準備をされました。

午後五時半、紅華の皆様による呼びこみ太鼓が鳴り響き、会場が賑やかになりました。
六時より町長さんをはじめ下市田区の招待者及び関係者多数の参列をいただき、開会式を行いました。
第一部、紅華の皆様の太鼓演奏から、中央特設ステージでの発表が始まりました。リズムカルな太鼓の響きが、萩の里に響き渡るようでした。いよいよ祭りが始まるなあと、心がワクワクしました。

第二部、保育園児の賑わいでは、吉田河原保育園と下市田保育園の皆さんが、それぞれお祭りらしい衣装で、愛らしく、元気に踊ってくれました。会場内は、笑顔と拍手があふれました。
第三部は各区盆踊り発表会。切りはだんだん暗くなりはじめ、各区の席もいっそう賑やかになって盛り上がる中、六区から順番に発表が行われました。プラカードを先頭に入場し、踊りの会の方々を中心にして、練習を重ねた見事な踊りを披露してくれました。三区の若さ溢れる発表には町長さんも飛び入りで参加され大奮闘されました。元支館役員の皆様により審査が行われ、閉会式で、それぞれの賞が贈られました。

第四部、子供花火大会は、まず育成会玉置さんの説明と指導で縄文の火おこしが行われました。舞台の上で四区子供会の代表の子供達による火おこしの実演が行われ、努力が実りようやく白く細い煙が立ち上がると、会場から拍手と歓声が上がりました。その火が花火に移され、大勢の子ども達が花火を楽しみました。
続いて納涼盆踊りは会場内、全員の参加で、大きな踊りの輪ができ、和やかな雰囲気夏の夜のひとときを過ごすことができました。

最後に閉会式があり、無事終了しました。
下市田区最大のイベントであるこのお祭りが、好天に恵まれ、事故もなく盛大のうちに終了できましたこと心から感謝申し上げます。
今年は音響を専門家の方をお願いしました。音がきれいだったので、好評でした。

安全協会の皆さん大変お世話になりました。
各区青年部の皆さんありがとうございました。
準備からご協力頂いた関係各位の皆さん本当に有難うございました。



お母さん いっしょにおどろうね



今年は新しい踊りに挑戦

文化祭り・敬老会 ぐるりウォーキング

下市田区文化祭り・敬老会は、十月十五日・十六日の二日間区民会館にて開催されました。展示発表は、

平成17年度 「下市田文化祭り・敬老会」 ぐるりウォーキング

十五日午後一時より四時三十分まで、十六日は午前九時より午後四時まで行われ、多くの区民が見学されました。本年は十八団体四個人の二百二十四名の方の二百四十八点の作品が出品され、絵画・書・手工芸・古文書・陶芸・盆栽・木彫り・生花と多岐にわたりの作品も完成度が高く出品された皆さんの制作への情熱が感じられる展示会となりました。また茶道部のお茶の接待も好評で、やすらぎのひとつとなりました。

敬老会は、区内七十才以上のお年寄り約八百名に招待状をお送りし、百九十名以上の出席の下、行われました。内容は高齢者表彰やステージ発表が主となりましたが、昔なじみのなつかしい顔を見つけ、久しぶりだなむ、元気だったか?と旧交を暖める姿がそこかしこで見られ、外出



する機会の少ないお年寄りの交流の場となっております。また楽しいステージ発表に歌を口づさんだり手拍子を打ったりと明るい雰囲気の中、催されました。ステージに立つ発表者の中にも七十才以上の方もおられ、すばらしい芸を披露されておりました。



下市田ぐるりウォーキングは十五日午後一時から四時まで文化祭に併せて行われ約六十名の方の参加がありました。秋風と共に歩こうを合言葉に山歩き・平地の各コースを歩きました。昨年までは比較的距離の短い平地コースのみでしたが今年にはより歩きたい人のために山歩きコースが考えられ以前より参加者が増えています。

山歩きコースは松岡城址・一本杉方面、平地コースは武陵地・日限地藏方面へ向かいました。時折、小雨の降る天候でしたが親御さんと歩く小さなお子さんの姿もあり、深まる秋にふれ楽しいウォーキングでした。



ぐるりウォーキング

毎年恒例になっております、下市田ぐるりウォーキングが十月十五日に行われました。参加者約六十名が、Aコース・Bコースに分かれて、午後一時より四時まで、史談会・自然愛護会の方々の先導と説明を聞きながら、史跡めぐりを致しました。

四区に入つてすぐの道にある清水庵の説明を受け、その近くからゆつくりと登って行きました。松岡城址に到着し、東前方を眺めると、天竜川や南アルプス連峰の山々が一望できました。高森町の中でも、数少ない絶景であります。松岡氏は、十五代続きました。二代目が瑠璃寺を創建し、四代目が萩山神社を創建、九代目が安養寺を創建し、その後松岡城を創建したそうです。十五代目は徳川家康に家臣の約束をしてありましたが、松本の小笠原貞慶の誘いにのつた為、家康への逆心であると家臣に密訴され、お家断絶となったという説

明でした。松岡城の存続期間は、約二百五十年と推測され、城址周辺は昨年より県の補助金を得て、竹やぶを切り、きれいになっておりました。いつも思う事は、ここに城が建つていれば、町の観光の目玉として、かなりインパクトがあるだろうという事です。その点が残念でなりません。帰りは、元明大学野球部の島岡監督の墓前にお参りをしてきました。なお、史談会や愛護会へは、入会自由ですので、ぜひどうぞというお話でした。

宮外 記

久保田 記

下市田のみなさん こんにちは

四区出身 鈴木京子
(愛知県在住)

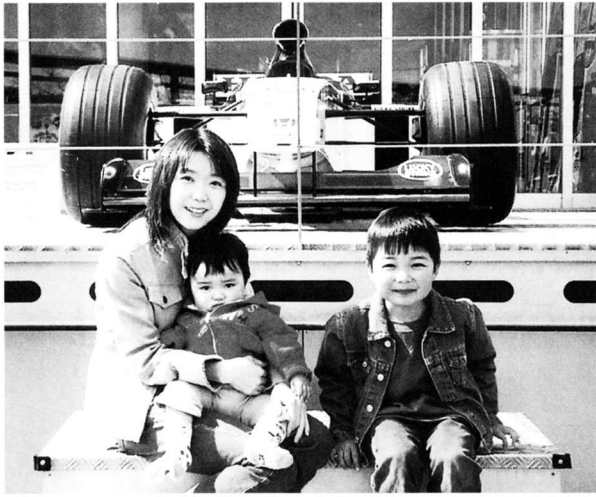
のカニを
唐揚げに
して食べ
るとその
おいしい
こと。子

今年の夏の暑さは、大変
厳しいものでした。愛知県
は長野県の隣の県ですが
市田と比べると、とても暑
い所です。最近、こちらも
ようやく秋がやって来たと
いう感じがします。

私が住んでいる刈谷市か
ら市田までは、二時間くら
いの距離です。中央道を
通って市田に帰るたび、美
しい緑の山々が見えると、
心がホッとします。

毎年、夏休みには実家に
帰るのです

が、今年の夏
にも子供達と
一緒に市田で
過ごせまし
た。その時に
長男が、私の
兄にサワガニ
捕りに連れて
行ってもらい
ました。百匹
くらいのカニ
を捕まえるこ
とができ、大
喜びで帰って
来ました。そ



世の中、「貴方も私も みんなそれぞれ」だが…

二区 松島修三

長く人生を生きてくると
いろいろと気づく事があり
ます。まさに世の中それぞれ
様々。

選挙で負けた候補者や政
党の党首は間違えても「有
権者が馬鹿だからだまされ
てこんな結果になったん
だ」とは、たとえ口が裂け
ても言えません。悔しい事
でしょう。同情します。

吉本興業のお笑いタレン

随 想

朝の風景

六区 野神美穂

四十の手習いで走るこ
とを始めた。毎日ではないが、
朝五時に起きてジョギン
グ。家の周りから天竜川沿
いをずっと走って戻ってく
ると三キロ余り。最初は走
ることだけで精一杯だった
が、そのうち周りの景色も
見えて、出会う人とも挨拶
できるようになってきた。

一生懸命の草取りをする
いちゃん大好きなんだろう

に塩が混じっているのか砂
糖なのか、はたまたトウガ
ラシが入っているのかよく
解らない人に「まんじゅう
が好きか？嫌いかどっちか
決める。餡この事をゴチャ
ゴチャ言う奴はまんじゅう
が嫌いなんだ。すぐにでて
いけ。」小泉さんはケンカ
上手ですね。見事にひっか
かりました。まんじゅう怖
いか酸っぱいか？

ケンカ上手はともかく小
泉さんの最後の引き際がみ
ものです。馬鹿か利口か唯
の変人か。人も桜も散り際、
引き際、死に際が一番肝心。
危ない。

「あつ」、家の前のはなの木
が赤みを帯びてきた。紅葉
するととてもきれい。でも
落ち葉は大変。これをま
たお姑さんが、毎日せっせ
と掃いてくれるんだろう
な。感謝、感謝。さあ、私
の一日はこれから。頑張ろ
う。みんな、おはよう！



わたしの作文 ぼくの作文



最近読んだ本
小五 橋都 妙里 (四区)

私は、「世にも不幸なできごと」という本について書きます。この本の主人公は、不幸続きの三姉弟妹、発明が大好きな長女ヴァイオレット、読書が好きな長男クラウス、なんでもかみたがる末っ子のサニーです。

今は、不幸な姉弟妹ですが、昔は幸せな姉弟妹でした。両親に大切にされていけれど不幸な火事のせいで、



でもオラフがいなければ不幸でも、なんでもないままらな本に



マイハッピーライフ

中一 今井友香 (五区)

中学に入學してまだ間もないある日、今年度二度目

になるという部活動の発足会があった。一年生の部活

奏楽部に入ると決めていたので、迷わず入部した。部活は楽器決めから始まる。私は、それまで見たことも聞いたこともなかった

くさんいた。県大会は銅賞で残念だけど、県大会へ行っただけでも嬉しかった。コンクールが終わり、次

は文化祭。時間がなくて、練習は大変だった。でも本番は大成功だった。見ている人たちも、手拍子などで盛り上げてくれたので、ノリノリで吹けた。

文化祭が終わると三年生は引退。少し淋しいけど、すごく楽しかったし、毎日充実していた。私はもっと吹奏楽が好きになった。これからはもっと吹奏楽を続けていこうと思う。

七月の終わりに吹奏楽コンクールがあった。私は、ステージに立てることに

なっていたので、がんばって練習した。そのせいか、本番では大成功。銀賞で県大会出場が決まった。本当に嬉しくて、泣いている人もた

幸せは消え、幸せの代わりになつてしまふと思うので、やっぱりオラフも重要人物なんだと思います。これからもいろいろな不幸があると思うけど、三人ならかならずきりぬけられると思います。

下市田の郷土史と民俗①

一、正月の準備 松迎え

その年も暮れになると、正月様(年神様)を迎えるための準備に多忙をきわめる。

まずは松飾りである。松飾りの多くは、

松と竹を一組にして、左右一対として立てる。松竹はめでたいことの象徴とされている。正月様をお迎えする

には、山へ行つて神が宿ると言われている松の若木(三段松、五段松、七段松)二本を切つて来て門松とした。

此の松は神様の「依代」と言つて、天から降りて来る神の目標となる大切なものである。従つて、持ち帰った時には汚れないように、少しでも高所に置いた。所によつては清めの塩をまいたり、たつくりを供えたりして丁重に扱った家もある。お迎えする日は、偶数日

が良いとされ、二十九日は「苦待つ」、三十一日は「葬式の一晩飾り」と嫌われ、避けた。又、山から切つて来たその日に飾るのは「日切り松」と言つて避けた家もある。

下市田ではないが、三十一日の夜、飾った所もあった。

此のように、門松一つ立てるにも地域や家によつて、又考え方や飾り方にも、多少の違いはあったが、門松を立てることは変わらなかった。

※註「年神様」というのは、この一年間五穀豊穡で良い生活のできることを感謝し、又来る年も、いよいよ隆盛になるようにお守り下さる神様である。

◆◆◆◆◆
今回は「門松の飾り付け」(下市田史談会)



門松 (高森町歴史民俗資料館提供)

グループ紹介

ピアパッション

代表 金田 美保子 (二区)

ピアパッションの紹介をさせて頂きましてありがとうございます。ピアパッションは、南信地区に多数あるエアロビクス「今井愛子パッショングループ」の一つです。高森では四つ目のパッショングループで、今年一月に立ち上げたばかりのフレッシュグループです。メンバーはインストラクター

「伊東いづみ先生」を始めとし十四名元氣いっぱい和気あいあいとレッスンを受けております。年齢制限は無く仕事を持っている方がほとんどです。瘦せたい、週に一度位体を動かしたい、とにかく楽しいから来ている、と色々な目的で頑張っています。「エアロビクスやるぞ!」と力を入れてやるのも良いと思います。ピアパッションは、仕事、子育て、家事の疲れから解放される場所、癒しの場所になる様立ち上げたグループです。メンバー皆が居心地良く心も体も伸び伸びとエアロビクスが出来る様グループ作りをしていきたいと思っています。目下、十月十六日に開かれる「下市田文化祭り・敬老会」十一月に開かれる町の「ふるさとまつり」に向け猛特訓中です。ピアパッションにとって初舞台です。メンバー全員ドキドキです。素敵なステージが出来る様頑張りますので応援よろしくお願ひ致します。毎月の



レッスン第二金曜日、第三木曜日、第四金曜日の夜七時から下市田区民会館にて行っています。どなたでも歓迎致します。ぜひ一度遊びにいらして下さい。

地域の紹介

下市田六区自治会長

片桐 清司

この度公民館より六区自治会の情勢と題して原稿の依頼を頂きました。自治会の将来に向

かつて解決をしなければならぬ問題が幾つかござい。まず昭和四十年代頃は活気溢れる出砂原でした。市田駅を中心に商店街は正に隆盛極まりでした。又家の戸数もピークを向かえ高森町の玄関口とも言われて来ました。産業経済商



ベントを守り続ける事が先輩諸氏の宝物と

光協会夏の大イベント、市田灯籠流しについて少し話して見たいと思います。今年には八十二回目の灯籠流しでした。この灯籠流しは、大正末期に始まり現在に至っております。町内の皆様は夏になると市田の灯籠流しは八月十八日にと楽しみにして下さっております。毎回人出は五万人、六万人位(推定)あり、灯籠流し花火大会を堪能されて居ます。伝統であるこのイベントを守り続ける事が先輩諸氏の宝物と

区委員スポーツ大会

九月十八日(日)、タイガース優勝附近の熱波なか三十度を越す猛暑の中、区役員及び各委員の親睦スポーツ大会グランドゴルフが実施されました。会場準備に土木・消防委員が午後二時から参加、コース作りを、参加者が苦しみながら楽しんでもらえる様工夫し、仕上がりみてみると見事なトラ刈りコースとなりました。午後四時から豪華商

品を目指して四人一組でスタート、各自の思惑と結果に一喜一憂の歓声の中五時

編集後記

「萩の郷」六十二号をお届けします。この号は、まさに事業特集とも言えるべき紙面です。六月に行われ

した「地元町議との懇談会」に始まり、七月の「萩の里祭り」、それに十月の「文化祭り敬老会」と、めじろおしとなりました。

そのどれもが、大勢の方々のご参加を頂き、有意義な中にも楽しく催行されましたことは、区民の皆様お一人お一人の並々ならぬご支援の賜と、改めて感謝

半過ぎ全員ホールアウト。六時から区民会館で懇親会が開かれ、下市田の将来を語り合う有意義な会となり、政治問題からご近所の話題まで、短時間ながら市田、今後の活動のものと

今宵は、中秋の名月各自新たな出会い、発見、リーダーの自覚、協調の大切さ、将来の展望等を胸に秘め無事終了することが出来ました。準備から後片付けまで参加の土木・消防委員の皆様大変お疲れ様でした。

土木委員長 松田 忠弘

中에서도、一番近くに行われました「敬老会」には二百名になんなんとする、かつてない大勢の、元氣なお年寄りの皆さんにご参加頂きました。あの激動の昭和を、今日のようなみごとな日本とされた世代の、自信と誇りの、すばらしいパワーをひしひしと感ずることのできた、感謝の一日となりました。